

事業名称	ワンあぼしプロジェクト
団体名・代表者	NPO 法人あぼしまちコミュニケーション 理事長 勢川 正澄
協働の相手方	観光推進課、文化財課、まちづくり指導課

目的	古来より揖保川や瀬戸内海の舟運と廻船業で栄え、「銀の馬車道」に匹敵する文化的価値を持っている町「網干」の魅力をホームページを通して発信します。また、例年の「まちなかあるき」に加え、サブカルチャーイベントを定期的に開催することで、幅広い世代の人達に足を運んでもらい、西姫路エリアの活性化につなげることを目的とします。
内容	「あぼし」のホームページを制作することで、世代や地域をこえた人達向けの発信を行います。 自治会を通じた地域の情報やイベント情報も発信し、若い世代の方達に興味を持っていただけるように SNS を駆使した方法で、「網干」の魅力を伝えたいと思います。
事業経過	新型コロナウイルス感染拡大防止の影響で予定通りに進まず、何度も足踏みをしてしまいましたが、当初の目的である、「網干を発信する」という点に集約いたしました。ホームページ自体が、更新していくことで完成するものでありますので、今後の経過も重要であると考えております。
事業の効果	ホームページ開設準備期間中にあぼしまち交流館で開催されたイベントについては、SNS での告知を行ったり Youtube での動画配信を行い、網干に来られたことのない地域や若い世代の方にもお越しいただきました。 まちなみや風景も素晴らしく、何より触れ合った人たちが優しい方ばかりだったという嬉しい意見も頂きました。 事前に情報を開示していることで、商店街のお店への紹介もスムーズに行えたと思います。
今後の展望	ホームページは今後の活用方法によってさまざまな可能性があり、自治会発信の情報だけに留まらず、公共施設や学校関係、賛同して頂ける企業や団体にも協力してもらい「あぼし便利帳」としての役割を確実にしていきたいと考えています。また、SNS とのリンクを頻繁に行うことで、さらに多くの人に「網干」の良さをお伝えしていきたいと思っており、観光のお手伝いが出来ればと考えています。運営にも若い世代の協力を得たいと思います。

【実施団体の事業総括・感想等】

<p>新型コロナ感染症対策の影響で当初の計画通り進みませんでしたでしたが、各自治会長方々や「網干歴史ロマンの会」の皆さんのご助言やご協力を得ましてホームページを完成させることができました。</p> <p>例年行われている「網干まちなかあるき」にサブカルイベントを同時開催し、コスプレの参加者が網干のまちなかを歩いたり写真撮影をするイベントでは、フェイスブックやインスタグラム、ツイッター等で告知や集客を行い、当日の様子を Youtube で動画配信するなど、SNS を駆使したことで今まで網干に来たことのない方や若い世代の人たちに来て頂く事が出来ました。</p> <p>このホームページをより活用してもらうために、たくさんの人に携わっていただく内容を構築していきたいと考えております。</p>
--

【協働の相手となった所管課の感想等】 ※実施団体は記入しないでください

<p>【観光推進課】</p> <p>新型コロナウイルス感染症の影響により、計画通りとはいきませんでしたでしたが、ホームページ「あぼしプラス」の開設や SNS を活用した網干の情報発信など、若い世代の方とも積極的に交流を図られています。今後も地域の方々を巻き込みながら継続的に活動いただき、姫路の観光を盛り上げていただければと思います。</p>

【文化財課】

網干地区の歴史文化を多くの人に知ってもらうための良い事業と考えます。若い人を取り込むための取り組みを試されている点も評価が高いです。

【まちづくり指導課】

網干の地域情報を発信するツールとして、中心となるホームページが完成したことは、今後、網干の歴史的なまちなみの魅力を広めていく上で有効であると考えています。イベントの告知等でも一定の効果を発揮し、網干へ興味をもってもらいきっかけになることも良かったと思います。今後、官民間問わず、網干に関する様々な情報を発信し、地域の発展に寄与するホームページの運営を継続してもらいたいです。